

みんなの未来レポート

発行：未来の学校事業運営委員会「Mirai研」

topic 1年間でどんな変化があり、来年度どのように改善していくのか

先日、みなさんにGoogleフォームで回答してもらった結果を、4月に実施した同じ調査結果と比較しながら紹介します。



- ・ 4月から大きな変化は見られないが、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した生徒の割合は増えている
- ・ メール配信や授業の振り返りシートで認知してくれた生徒もいる



- ・ 4月より具体的な行動を起こしている生徒が増えてきた
- ・ 3年生になるにつれて「そう思う」の割合が増えるが、1・2年生にも受験勉強を始めている生徒がいる



- ・ 「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した生徒が減少した
- ・ 特にルーブリックに関して、具体的に理解できた生徒は多い

調査を終えて

調査へのご協力、ありがとうございました。

1年間、Mirai研では学校内の教育活動を通してさまざまな取り組みをしてきました。例えばルーブリックです。4月はどういうものかあまりわからなかった人も、授業等を通してルーブリックと関わっていくうちに、それがどういうものか理解してくれました。ただ、そのルーブリックを使用する先生とそうでない先生がいたり、ルーブリックの大切さまでは生徒のみなさんに浸透しきれていなかったりすることが、今回の結果につながったと感じています。それは、ルーブリックが生徒のみなさんの切実感が高いものではなかったというも、理由のひとつかもしれません。

他にも、さまざまな取り組みをしてきましたが、もう少し違ったアプローチの仕方があったのではないかと反省する部分もあります。ただ、それは飯田風越高校の教育活動をより良くするためのヒントになるものです。それを得ることができたのも、みなさんの協力のおかげです。今年度はまだ少しありますが、この場をお借りして生徒のみなさんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。来年度も引き続き研究を続けていきますので、ご協力よろしくお願ひします。



～長野県飯田風越高等学校～

国際的な教育プログラムを研究する高校

